



さんだ

夏号



安全で安心な水をいつでも

私たちの暮らしになくてはならない水を365日、24時間いつでも
休みなく送り出している三田浄水場のホットな話題をお届けします

三田浄水場のある
西野上地区に広がる田園風景
(とうもろこし畑)

周辺の田んぼの畦道では
夏のシンボルが大輪の花を
咲かせていたりします

■ Message

三田浄水場ってこんなところ

- 浄水場のスペックとあらまし
- さんだ Topics
三田カルチャータウン太陽光発電所に見学スポット誕生
災害に強く環境にやさしい施設づくり
- すいどうマメ知識
水道管あれこれ ~鋼管と铸铁管~
- 四季彩 さんだ・にしのがみ 夏の貌(かお)

■ Information

- 阪神・淡路大震災 20年記念 水道災害シンポジウム
- 今年もいっぱい来てくれてありがとう!





8月1日は「水の日」。そしてこの日を初日とする一週間は「水の週間」(国土交通省)です。

ふだん何気なく使っている水ですが、毎年この時期には渇水の心配も出てくるため、水の大切さやありがたみをあらためて再認識しなければならない時期でもあります。

三田浄水場では、このようなキャンペーン期間のあるなしにかかわらず、毎日24時間休みなく、厳しい危機管理意識をもって水質管理や事故防止に努め、安全で安心、そしておいしく飲める水を送り続けています。



ちなみに、(今年はもう過ぎてしまいましたが・・・)毎年6月1日から6月7日までの一週間は「水道週間」(厚生労働省)として、水道事業 PR のため様々な啓発事業が行われています。

◆三田浄水場ってこんなところ

三田浄水場は、JR新三田駅と広野駅のちょうど中間あたり、西野上地区の武庫川沿いにあります。敷地の広さは、甲子園球場の約 1.5 倍(54,686 m²)。周辺には田園やなだらかな丘陵がつくるのどかな景色が広がっています。

現在は、青野ダムを水源とし、すぐそばを流れる武庫川から取水しています。1日あたりにくみ上げることができる水量は、92,000 m³ です。



浄水場の全景



青野ダム

昭和61年度から三田市、三木市、加東市へ給水を開始し、現在では小野市や神戸市北区、篠山市へも給水、その水量は1日平均でおよそ56,000 m³ となっています。

平成35年度には、三田市のほか5つの市に1日最大88,600 m³ の水道水を届ける計画になっています。

◆さんだTopics

三田カルチャータウン 太陽光発電所に見学スポットが誕生



再生可能エネルギーの普及を図るため、兵庫県企業庁の保有施設などを活用して整備が進められているメガソーラープロジェクト。事業の一環として三田カルチャータウンに設けられた太陽光発電所に、7月1日、施設を展望できる見学スポットが新たに完成しました。

ドライブがてらにふら〜っと、あるいは、遠足や環境学習の行程に組み込んでいただき、ぜひ現地でそのスケールを体感してみてください。



- ◆所在地 三田市学園 1 丁目
- ◆見学 展望施設への入場・見学は自由（無料）です。
- ◆駐車場 バス2台分の駐車場あり
9:00~19:00 開放（ただし、10月~3月は17:00クローズ）。



北摂広域水道事務所が電気工事を担当したこの発電所は、8.6haの敷地内に計26,124枚の太陽光発電パネルが敷き詰められ、発電出力は、6,530kw。自治体設置で現在稼働中の太陽光発電施設としては、全国最大の容量・規模を誇ります。

今年3月の発電開始から7月末までに、すでに約407万kwhの電力を生み出しています。



わかりやすい解説パネルも設置されています

問い合わせ先

兵庫県企業庁分譲推進課
Tel(078)362-9390
同 情報公園都市建設事務所
Tel(0794)82-8265

★発電状況は、ホームページでタイムリーにご覧いただけます。

<http://www.solar.pref.hyogo.lg.jp/>

Other Topics

災害に強く環境にやさしい施設づくり

◆災害に備える ～大規模地震やゲリラ豪雨の発生をにらんで～

地震や洪水などにより大災害が発生すると、水道施設が被害を受け、水道水の供給がストップして、日常生活や医療活動、経済活動などに広く支障の出る事態も想定されます。

兵庫県企業庁では、ある浄水場が被害を受けても、被害のない他の浄水場から送水できるようなセーフティネットの構築に取り組むとともに、停電時にも浄水設備や機械を稼働させるための自家発電設備を設置しています。

また、日頃からあらゆる事態を想定して、職員全員参加のもと、災害や事故への対応訓練などを随時実施し、いざというときに迅速・的確に動けるような備えをしています。



水道災害対策連絡会議を開催

大規模災害の発生に備え、またこれからの台風シーズンを控えて、県下の水道事業者が緊密な連携と情報共有のもとでの的確な災害予防を図るため、7月16日、神戸市内で連絡会議が開催されました。

会議では、県と各ブロック幹事市の担当者が一堂に集まり、この秋に共同実施する災害対応訓練の計画内容や水道災害が発生した場合の相互応援協定のあり方などについて協議や意見交換を行いました。

阪神淡路20年

— 1.17は忘れない —



毎月17日は「減災活動の日」

兵庫県では、阪神・淡路大震災の経験と教訓を踏まえ、将来の災害発生への備えを充実させていくため、震災の発生日にちなみ、毎月17日を「減災活動」に取り組む日と決めました（今年4月からの一年間）。

自然災害の襲来は避けられないものとしても、その被害を予測し、最小限にとどめるための取組を普段から進めることが大切。一人ひとりがしっかりとした“減災意識”を持ち、地域や関係機関が一体となった「うねり」を生み出していきましょう。



◆省エネ、地球温暖化の防止に取り組む

三田浄水場では、災害への備えという視点と合わせて、環境への配慮という視点から施設・設備の整備を進めており、事業者の責務として、エネルギー使用量の削減に加えて、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化の防止にもつなげるという意識をもって取り組んでいます。

太陽光発電とガス・コージェネレーション発電

場内の電力システムは、電力会社からの受電に加え、緊急時や電力のピークカット時に運転するガス・コージェネ発電設備、そして太陽光発電設備で構成されています。

太陽光発電は、電気をつくる際にまったく二酸化炭素を発生させないクリーンなシステムです。

場内の発電設備は、メガソーラープロジェクトに先行して平成24年夏に完成し、天日乾燥床用地や管理棟屋上など4カ所に設置しています。浄水場では、日々の給水量の変動により、使用電力量に多少の変化はありますが、おおむね一定した電力が必要です。

このため、太陽光発電設備で発電した電力は浄水場内で使用し、不足分は商用電力とガス・コージェネ発電設備（最大運転時 1,400kw）からの電力によって補います。



ガス・コージェネ発電設備



三田浄水場内の太陽光発電設備



太陽光発電の発電量ってどれくらい？

場内太陽光発電システムの最大出力は 440 kw で、設置から 2 年が経ちましたが、予測発電量を 3 割程度も上回り、今年 7 月末までにおよそ 123 万 kwh の電力を生み出しています。

毎年、浄水場で使う電力量の 5%程度を太陽光発電でまかなうことを想定していましたが、目標は十分にクリアできています。



◆すいどう マメ知識 (その2) 水道管あれこれ ~ 鋼管と鑄鉄管 ~

水道管は、浄水場でつくった水を家庭などの蛇口まで送る大切なライフラインです。水道管は太いものから細いものまでさまざま。また、材質もこれまでの技術革新の流れの中で、錆・腐食の防止や強度、人体への安全性などの視点に立って、いろいろな問題点を克服しながら発展してきました。

三田浄水場が所管する管路の総延長は、およそ 60km にも及んでいます。



これは鋼管。地震に強く、高い圧力にも耐えられるのが特徴で、400 ミリ径から 1,800 ミリ径といった巨大なものまであるよ。三田浄水場で使っているのは 1,200 ミリクラスが最大サイズだけだね。

水道管の大きさも

半端じゃないね～

三田浄水場の玄関ホールでは、**鋼管、ダクタイル鑄鉄管のサンプル（輪切り）**がそれぞれ展示されてるよ



これはダクタイル鑄鉄管（ちゅうてつかん）。錆びないのが一番の特徴で、200 ミリ径から 1,200 ミリ径といった巨大なものまであるよ。三田浄水場では、1,200 ミリクラスのものまで送水管として使われているよ。



これはおまけ。場内の天日乾燥床に浄水発生土を注入する巨大蛇口だ～！

管路のパトロール&レスキュー

水道管に損傷が発生すれば、断水や道路陥没などの大事故にもつながりかねません。このため、長く複雑に延びた管路網を、日常的にパトロールするとともに、漏水のおそれのある箇所を発見した場合は、漏水調査や応急修繕などに努めています。

浄水場内のみならず、場外の施設の安全・安心確保のためにも、24 時間、細心の注意を払っているというわけです。

たいへんだ～



《訂正とお詫び》

前号の「青野ダム」のあらまし紹介（表）中、「有効貯水量」と「取水量」欄の単位を「m³」と誤記していました。正しくは「m³」です。訂正してお詫びいたします。

◆四季彩 さんだ・にしのがみ

浄水場にも地域にも季節ごとの顔がありますし、場内から見える景色も四季ごとにカラフルに変化してくれます。



三田浄水場とその周辺の四季（夏の貌）

三田浄水場のそばを走る県道沿いでは、梅雨明けしたばかりの時期には、盛夏を迎える前のほんの一時、田園風景の中にアジサイとヒマワリが共生しているスポットがあったりします。



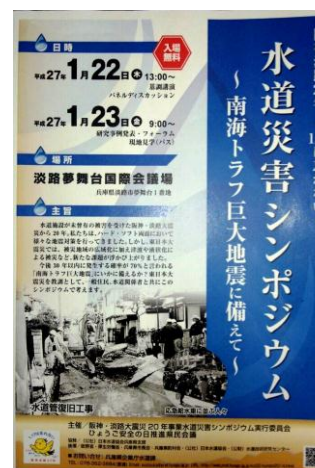
◆Information

●阪神・淡路大震災 20 年記念

水道災害シンポジウム

～南海トラフ巨大地震に備えて～

と き 平成 27 年 1 月 22 日 (木) ～23 日 (金)
 ところ 淡路夢舞台国際会議場
 主催 同シンポジウム実行委員会
 ひょうご安全の日推進県民会議
 問合せ先 兵庫県企業庁水道課 TEL (078) 362-3684



阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験・教訓を踏まえ、来たるべき南海トラフ巨大地震への水道ライフラインの備えを考えるシンポジウム。基調講演、パネルディスカッション、研究事例発表・フォーラムのほか、バスによる現地見学なども予定。

浄水場見学

今年もいっぱい来てくれてありがとう!!

5月から6月までの2カ月間に、計13校586名の児童・生徒のみなさんが、浄水場見学に来場してくれました。

お礼のお便りや手作りの学級新聞などもたくさんいただきました(すっごい、うれしかったな～)。

浄水場で働いている職員にとって何よりの励みになっています。

みんな、中学生になったら、「トライやる・ウィーク」で、ぜひまた来てね。



発行 兵庫県企業庁 北摂広域水道事務所 (三田浄水場)

〒669-1314 三田市西野上字上通り 152 番地
 TEL. (079)567-1663 FAX. (079)567-1674
 メール hokusetsusuidou@pref.hyogo.lg.jp